

# 楓園

ISSUE  
2024 1/31

# 97

FÛEN [フウエン]

Toyo Eiwa Jogakuin  
Public Relations Report



[特集]

# ことばを紡いで

—東洋英和で育まれたペンの力—

東洋英和女学院  
東洋英和楓の会



# ことばを紡いで

## —東洋英和で育まれたペンの力—

一人ひとりの個性を尊重し、自己表現力を育む東洋英和の教育。

自由で多様な英和生が紡ぐことばは新しい時代を切り拓きます。

### 「新・ざわざわ森のがんこちゃん」とは

1996年よりNHK教育テレビ(現NHK Eテレ)で放送されていた、園児および小学校低学年向けの道徳番組「ざわざわ森のがんこちゃん」の続編。2015年より押川理佐さん脚本で「新・ざわざわ森のがんこちゃん」、「えいごでがんこちゃん」、2020年より「ざわざわえんのがんべーちゃん」が放送開始。



©NHK

インタビュー

児童文学作家・脚本家

押川理佐さん

”  
楽しい物語にのせて  
大切なメッセージを  
伝える  
がんこちゃんの世界  
“

テレビ人形劇「ざわざわ森のがんこちゃん」(以下がんこちゃん)の脚本を、母である末吉暁子から引き継いだのは、絵本作家として活動していた2015年のことです。映像作品の脚本を手掛けた経験はありませんでしたが、「がんこちゃんの世界観を共有している人物」として私が選ばれたようです。引き継ぎから一年後に母は病で亡くなりますが、私が考

えたプロット(筋立て)について話し合ったり、物語づくりの大切なことを教わったり、驚くほど息の合った濃密なやり取りをしました。

がんこちゃんでは毎回ひとつのテーマを取り上げますが、かならず「なぜ?」という理由づけまで描いています。あいさつがテーマの回では、あいさつをしないと相手がどういう気持ちになるかをコミカルに描きながら、あいさつが大切である理由を伝えるストーリー展開にしました。「あいさつしなきゃだめだよ」ではなく、あいさつは人を幸せな気持ちにしてくれるというエンディングにするので、コミュニケーションの本質を感じてもらいたいと思いました。

### 伸び伸びと創造力を育んだ 東洋英和の10年間

中学部から入った東洋英和では演劇部の活動に打ち込み、物語を創作することが大好きでした。国語の授業の「短歌を



押川さんとがんこちゃん、がんべーちゃん

### 聖書の言葉

「また書物、特に羊皮紙のものを持って来てください。」

(テモテへの手紙 第4章 13節後半)

この一言は、伝道して捕らえられたパウロが、獄中から弟子のテモテへ宛てた手紙の一部です。パウロは、逆境の中にあって書物を持って来てほしいと願っています。この書物が具体的に何を指しているのかには諸説ありますがイエスの語録、または聖書の一部かもしれません。いずれにしろ、彼の信仰を支え、希望を与えるものでした。私たちも逆境に遭うことがあります。そんな時、パウロに倣い、聖書や今回の楓園で紹介されているような書物によって、東洋英和が大切にしてきたキリスト教信仰への理解を深め、どのような時も希望をもって歩んでいきたいものです。

副院長 高橋 貞二郎

# Oshikawa Risa

## PROFILE



1989年高等部を卒業後、東洋英和女学院大学人文学部に入学、卒業。黒テント俳優基礎学校卒業。出版社、保育園などに勤務後、文芸同人誌『泳げ!』創刊。2008年に絵本『ねこまるせんせいとたなばた』(世界文化社)を出版。テレビ人形劇「新・ざわざわ森のがんこちゃん」「えいごでがんこちゃん」「もしものときのがんこちゃん」(全てNHK)など、主に子ども向けの物語、脚本を執筆。

### 書籍情報

#### 『たなばたの よるのともだち』

【作】押川 理佐  
【絵】一條 めぐみ  
出版社：世界文化社  
発売日：2023年5月18日  
定価：1,650円(税込)



#### 『NHK for School もしものときのがんこちゃん じしん・大雨・火山 こんなどきどうする?』

【文】押川 理佐  
【絵】武田 美穂  
出版社：NHK出版  
発売日：2023年8月19日  
定価：990円(税込)



読んでイメージした小説を書く」といった課題は大好きで、貰った用紙の余白までびっしり埋めて短編小説を書いたら先生に気に入られ、クラスのみんなの前で発表したこともあります。本が好きで図書室にもよく通い、中学部2年生のときに読んだヘルマン・ヘッセの『シッダールタ』、光瀬龍の『百億の星と千億の夜』など多くの作品との出会いがありました。映画雑誌に載っている作品のあらすじを読むのも好きで、映画を観ていないのに、数行のあらすじをふくらませて『オリバー』の演劇の脚本を書いたこともあります。演劇ばかりやっていて勉強熱心な生徒ではありませんでしたが、高等部2・3年生のときのクラス担任だった物理の橋詰正治先生をはじめ、私を型にはめることなくそつと見守ってくださった先生方のお陰で好きなことにまい進できました。

高等部を卒業後は東洋英和女学院大学に1期生として入学し、演劇研究会をやるためにまず学友会(現・清楓会)を立ち上げ、大学でも演劇に打ち込みました。学生の数が少なかったので周りの友人をたくさんを引き込み、障がいのある子も含め、さまざまな人たちが一緒に活動していました。周りには心配していたようですが、生き生きと舞台上で演じ、裏方仕事にとりくむ彼女たちの姿を見て、ひとりひとりに個性を生かせる持ち場や役割があると感じました。この気付きは、多様な個性のキャラクターが共存するがんこちゃんの物語をつくる上でも生きています。

東洋英和から外に出てはじめて気付いたことですが、東洋英和には互いの個性を受け入れ、認め合う土壌があります。横並びで評価されることはなく、勉強やスポーツが苦手な子がいても排除したりせず、その子のいいところを見つけて包み込む寛容さがあります。東洋英和の自由でおおらかな環境が、私の創作に対する情熱を培ってくれました。

## Message!

### 英和生へのメッセージ

子ども向けのお話づくりをしている私ですが、いまの道に進むことを決めていたわけではありません。大学卒業後は俳優を目指して養成学校に通いましたがうまくいかず、夢を諦めきれずに苦しんだこともあります。でも思い切った夢を手放してみたら吹っ切れて、出版社で働いたり、保育園で働いたり、興味の赴くままにいろいろな職業を経験しました。まさか巡り巡ってまた脚本を書くことになるとは思いませんでした。が、人生に無駄なことはひとつもなく、もがくうちに帳尻が合うときが来るのだと思います。

近年、女子校の存在意義が問われていますが、日本の現状を考えると女子教育はまだ必要だと私は思います。ジェンダー論が語られる時代にあつても性差別を感じる場面はありますし、出産、子育てをする女性がキャリアを諦めなければならぬ風潮も根強くあります。だからこそ、性別や男女の役割を意識せず、みんなが同じ目線に立って向き合える女子校は貴重な場だと思っています。これから社会に出る英和生のみならずには、いま自分がいる環境を大切にしながら、得意なことを見付けて伸ばしていってほしいです。

## Contents

### 【特集】

P.01

ことばを紡いで

—東洋英和で育まれたペンの力—

From the Garden of Kaede

P.09

楓の園から [学院 NEWS]

P.17

Cartmell's Prayer [宗教教育委員会]

P.19

教員紹介

P.21

東洋英和楓の会

「楓園」について皆様のお声を聞かせてください。



「楓園」で掲載している写真には、コロナ禍以前に撮影されたものも含まれています。

インタビュー

小説家

麻希 一樹さん

” 東洋英和で過ごしたかけがえのない日々が  
小説のベースになる “

学校を舞台にした小説を多く執筆されている麻希さん。  
東洋英和ではどのような学校生活を送ったのでしょうか。

私は普段、二つのペンネームを使って小説を書く傍ら、会社の経営をしています。小説家としての私の仕事は、ごくシンプルです。「今回はこんなお話になる予定です」と説明したプロットを出版社の担当さんに提出して、OKをもらえたら小説を書き始めます。その後、推敲まで終えた小説に対してイラストレーターさんが描いてくださった挿絵や、小説がコミカライズされている場合には、漫画家さんの描いてくださった原稿を原作者として監修します。

今はほぼ毎日小説を書いている私ですが、もし英和に通っていなかったら—英和の、生徒の言動を否定せずに個性を伸ばす環境の中で育っていなかったら、私は小説家になっていなかったかもしれないと感じることが度々あります。幼稚園生の頃、私はみんなと一緒に遊ぶよりも、池のオタマジャクシを観察したり、一人で空想にふけったりす

ることの方が好きな子でした。幼稚園の先生方はそんな私に「みんなと同じことをしなさい」と注意することなく、心ゆくまで自分の好きなことを追求させてくださいました。また小学1年生のときには、「教室図書館」の活動を許可してもらいました。英和の小学部では、3年生になるまで図書室を利用できません。そこで「もっとたくさん本を読みたい」と思った私は、「クラスのみんで絵本を描いて、交換して読む教室図書館」の提案を行い、その実現を担任の先生に応援していただいたのです。

このように自分の好きなことをサポートしていただける環境のおかげで、私は持つて生まれた個性を伸ばし、のびのびと自由な発想ができるようになりました。そして小中高を通して、宿題の短編小説やクラス劇の脚本を書く機会などに恵まれたおかげで、小説家としての土台固めを着実に行うことができました。



幼稚園の池でオタマジャクシを観察する子どもたち

英和で過ごした日々の中で、私は先生方と同じくらい友人たちにも恵まれました。中高部時代は、放課後遅くまで友人たちと他愛のないおしゃべりをするに夢中になっていました。私たちは最終下校の時間を過ぎててもまだ話し足りなくて、帰宅してからさらに電話をかけ合ったり、お互いに貸し借りした本を夜遅くまで読みふけったりして、本当に充実した毎日を通しました。このときに感じた「学校も友達も大好き！」という気持ちは、今で

「文筆家のタマゴ」の質問に答えます！

~~~~~

麻希さんが執筆に励む中高部文芸部員の質問に答えてくださいました。

**Q1** 小説の始めの一文を考える時のコツを教えてください。

新しい物語を書き始めるとき、私は映画を撮影するような感覚で、その舞台となる場所を頭に思い描きます。そして、そこで見えた情景を描写することが多いです。他にも主人公の気持ちに寄り添って、彼・彼女の主張を最初の一文に持ってくることもよくあります。

最初の一文をどう書くか悩んだときには、とりあえず仮で何か書いておいて、推敲の段階でじっくりくるまで何度も書き直します。最初から完璧な一文を求めるのではなく、まずは物語を最後まで書ききることの方が大事だと思います。

**Q2** 執筆の時、集中力を高めるための工夫を教えてください。

集中力を高めるために一番重要なのは、体調を整えることだと思います。日頃からしっかり食べて寝て筋トレなどを行い、体力をつけましょう。執筆の途中で単語が頭に浮かばなくなってきたら、一度休憩を入れて頭をリセットさせることも効果的です。そういうとき、私はよく昼寝やヨガをします。



小学部の図書室で本を読む子どもたち

も私の中に残っていて、十代の少年少女が主役のお話や、学校が舞台のお話を書くときのベースになっています。英和の友人たちとの交流は、卒業後もずっと続いています。大学生のときにはバックパッカーになって、東南アジアやサハラ砂漠など世界各地と一緒に旅しました。他にもシェアハウスをしたり、一緒に仕事をしたりと楽しいことはたくさんありましたが、中でも一番心に残っているのは、私が作家デビューしたときに助けてもらったことです。

デビュー作の発売直前に、私の母が末期癌で入院しました。その当時、私は二作目の小説を書いている最中でしたが、心身共にポロポロで言葉が頭に浮かんでこない状態でした。友人たちはそんな私を励まし、デビュー作の発売日には、病院に詰めていた私の代わりに本屋に行って、著作の積まれた

書棚を撮影してきてくれました。そして母の臨終の席には、英和の卒業生であった母の中高部時代の親友たちも集い、その最期と一緒に看取ってくれました。その後、私は子どもの頃から通っていた教会で母の葬儀を行ったのですが、そのときにも友人たちは泊まりだけで私をサポートし、火葬場までついて来てくれました。私たちは焼き場で母に最後の別れを告げるため、牧師先生たちと共に用意してきた讃美歌を歌おうとしました。しかし火葬場の都合もあり、母の棺はすぐ焼却炉の中に運ばれて行きそうになりました。そのときのことです。元音楽部で音楽を学んでいた母の親友が、讃美歌の「神とにもいまして」をとっさにアカペラで歌い出しました。それを聞いた私たちも全員が自ずと声を合わせて歌い始めました。そして皆が涙に暮れて歌う中、母の棺は讃美歌と共に炎の中に運ばれていきました。

もしあのとき友人たちが私を支えてくれなかったら、もしみんなが讃美歌を歌うことができなかったら、私は母を失った心に区切りをつけられず、小説の執筆をすぐには再開できなかつたかもしれません。英和の友人たちのおかげで、私は今も小説家を続けられています。英和で過ごした日々は私にとってかけがえのない財産です。私はこれからもずっと「英和が好き」と言い続けるでしょう。

## Message

### 英和生へのメッセージ

私は英和が好きです。それはもう、生まれ変わってもまた英和生になりたいと願い、「悩み部」シリーズに出てくる学校の名前を「永和学園」にしてしまいうくらい、英和が好きです。英和を卒業し、大人になってからも楽しいことはたくさんありますが、英和に通う日々の中での味わえない、英和独特の楽しい雰囲気や人間関係も確かに存在すると思います。英和生の皆さんは、先生方を困らせすぎない程度に好きなことを思い切りやって、英和での日々を満喫なさってください。英和で過ごした思い出や、英和で出会った友だちや先生方とのつながりは、皆さんにとって一生の宝になるはずです。



## Maki Kazuki

### PROFILE

東洋英和幼稚園・小学部・中高部卒業。東京大学卒業・東京大学大学院修士課程修了後、東京大学大学院博士課程在学中に作家デビューし、現在に至る。現役の会社経営者。主な著作に『5分後に意外な結末』シリーズ(共著、Gakken)、『悩み部』シリーズ(Gakken)、『未完成』なぼくらの生徒会』(KADOKAWA)、『グランドール王国再生録』シリーズ(麻木琴加名義、角川ビーンズ文庫)など。

### 書籍情報

『5分後に意外な結末』シリーズ  
『『悩み部』の結末と、その結末。』

[著] 麻希 一樹  
[絵] usi  
出版社: Gakken  
発売日: 2015年5月28日  
定価: 1,100円(税込)



『『未完成』なぼくらの生徒会』

[著] 麻希 一樹  
[イラスト] 新井 陽次郎  
出版社: KADOKAWA  
発売日: 2019年7月18日  
定価: 1,100円(税込)



### Q3

小説を書くために必要な語彙力はどう養いましたか。

私の場合、現代文や世界史の論述問題を解く練習を繰り返したことが、語彙力の養成に役立ちました。大学入試の文字数制限がある中で、自分の考えを的確に伝えるために、その都度使う単語を吟味し、書き方を変える練習をしたのです。

多種多様な文章を読むだけでなく、覚えた単語を実際に自分で使うことで語彙は定着していくと思います。英語で paraphrasing という手法がありますが、これと同じように日本語でも自分の主張を別の単語を使って言い換えたり、書き換えたりする練習をしてみたらいいと思います。

また私の場合、大学入試で一教科につき二時間半ほど集中して問題を解くトレーニングを積んだことも、集中力の強化に役立ちました。学校の試験などを通じて、日頃から集中する練習をしておくといいと思います。

インタビュー

近代文学研究者

持田 叙子さん

”さまざま作家との出会いをくれた

東洋英和の国語教育、図書室

“

近代文学を研究する持田叙子さんに、研究者になった経緯や東洋英和の教育で印象に残っていることを伺いました。

少女漫画が大好き！

近代文学研究者の意外な原点

近代文学研究者として主に執筆活動をしている私が、物語として最初に興味を持ったのは少女漫画です。ヨーロッパの王族・貴族が出てくる物語が好きで、ヒロインの紙人形を作って遊ぶような子どもでした。漫画に夢中で勉強は得意ではありませんでしたが、国語の授業は好きでした。通っていた小学校の国語の先生が優しい女性の先生で、作文に「将来は物語を書く仕事があったらいい」と書いたらほめてくださり、そのお陰か成績も上がって嬉しくて……。当時の私は女性とすると素直に自分を出せたので、中学からは女子校に行きたいと両親に訴えたところ、唯一受験が許されたのが東洋英和でした。親戚の大叔母が東洋英和の卒業生だったことが幸いしたようです。

東洋英和で出会った  
一生をかけての研究対象

東洋英和の中学部に入り、まず驚いたのが図書室の蔵書の充実ぶりです。当時から図書室は中高一緒で、年上の高校生が読む本も置いてあり、私にとって夢のようでした。特に夢中になったのがマーガレット・ミッチェルの『風と共に去りぬ』で、学校からの帰りのバスで、隣の席の人に「お嬢さん、背骨が曲がってしまいますよ」と注意されるほど前のめりで読みました(笑)。また、司書の先生の選書が優れているのだと思いますが、当時デビューしたばかりの塩野七生さんの『ルネサンスの女たち』が置いてありました。ルネサンスという言葉にひかれて読んでみたら素晴らしい評伝で、「いつか自分もこういうものを書いてみたい」と思ったのを覚えています。

科目の中ではやはり国語が好きでした。



た。中学部1年生のときの黒川信也先生にはじまり、岡本幸江先生、齋藤浩二先生にご指導いただきました。いずれの先生も文法などの知識だけでなく、ひとつひとつの作品を丁寧に読み込み、格調高い授業をしてくださいました。東洋英和の国語の授業は、本当にレベルが高いです。例えば岡本先生に教わった文学史の知識は、大学時代に受けた教員免許の取得試験でそのまま通用しましたから、大学レベルの授業をしてくださったのだと後々になって思いました。また国語ではないですが、物理の沓澤謙一郎先生の怪談話は印象に残っています。いつも定期試験が終わると話をしてくださるのですが、怖い人物が先生に憑依したかのようなリアルな語り口で、恐怖に震えながらも毎回楽しみにしていました。

のちに全集の編集に関わることになった、折口信夫に出会ったのは高等部2年生のときです。『死者の書』を読

Mochida Nobuko



1977年、東洋英和女学院高等部卒業。慶應義塾大学大学院修士課程修了、國學院大学大学院博士課程単位取得退学。近代文学研究者。毎日新聞書評担当者。三田文学新人賞選考委員。1995～2000年、『折口信夫全集』(中央公論社)の編集に携わる。2009年、『荷風へ、ようこそ』(慶應義塾大学出版会)で第31回サントリー学芸賞(社会・風俗部門)受賞。最新作は『おとめ座の荷風』(慶應義塾大学出版会)。

PROFILE

書籍情報



『折口信夫 秘恋の道』

[著] 持田 叙子  
出版社: 慶應義塾大学出版会  
発売日: 2018年9月6日  
定価: 3,520円(税込)



『安岡章太郎短篇集』(岩波文庫)

[著] 安岡章太郎 [編] 持田 叙子  
出版社: 岩波書店  
発売日: 2023年2月15日  
定価: 1,100円(税込)



『おとめ座の荷風』

[著] 持田 叙子  
出版社: 慶應義塾大学出版会  
発売日: 2023年9月15日  
定価: 2,970円(税込)

み、言葉の持つ力に引き込まれました。当時の私は、周りから押し付けられる社会観念を理不尽だと思いつつもはねのけることができずにいたので、作家たちの社会に対する反抗の言葉を聞きたかったのだと思います。折口信夫も反抗、反逆の人なので、その言葉にすがつっていたところがあるかもしれません。

### 大学や学会に所属せず 個人のテーマを追い続ける

高等部を卒業後は慶應義塾大学の文学部国文科に進学し、修士課程に進んで折口信夫の研究を続けました。修士課程を修了後に結婚し、夫の赴任地である岡山県で数年暮らしましたが、帰京後に折口信夫の母校である國學院大



学の博士課程で学ぶ機会を得ました。当時は娘が生まれたばかりで、乳幼児を抱えながらの研究はいま考えると無謀でしたが、折口信夫の研究をやり遂げたいという思いが強かったのだと思います。

しかし、折口信夫にかかりつきりだつたわけではありません。三田文学では永井荷風との出会いもありました。仏文科の教授(当時)で作家でもある古屋健三先生が荷風についての評論を出版され、その書評を依頼されたのがきっかけでした。勉強のために荷風の全集を読んでみたところ、読者からなかったり、わざと下世話な話をしたりと、折口信夫にはないユーモアにひかれました。荷風というと『濯東綺譚』の印象が強いですが、深掘りしていくとゲーディングが好きだったり、初期からずっと恋と平和を愛する乙女を描いたり、文学史ではわからない多くのことが見えてきました。世の中に知られていない事実があるならば、私が調べて本にしたいと決意しました。私は自分で研究対象を決めて文章にまとめ、出版社にお願いして本を出版する、というスタイルですとやってきました。非常勤として大学、短期大学で教えていた時期はありますが、大学や学会には所属しておらず、思うままに研究したことを認めてくださる方がおり、書籍という形で研究を世に出してこられたのは幸運でした。

### 近代文学の知られざる一面を 広く伝えることが夢

東洋英和には娘もお世話になり、いま多くの同級生との縁がなくなっています。第一作目の『折口信夫 独身漂流』を書いたとき、いち早く読んで感想をくれると同時に、「漢字が多くて読むのがちよつと大変だった」「である」が多いよね」といったことも正直に伝えてくれたのは英和の同級生でした。同級生の率直な批評は私にとって大きく、以降は論文調を改め、幅広い年代の人にわかりやすい文章にすることを念頭に置くようになりました。

新刊の『おとめ座の荷風』が出版されたばかりで、この先のことは決めていませんが、次は与謝野晶子について研究してみたいと思っています。コロナ禍で時間ができたとき、与謝野晶子の『新訳源氏物語』と『新新訳源氏物語』を読みました。晶子は生涯に二度『源氏物語』の現代語訳を出していますが、いずれも優れた訳本で、日本の近代史や風俗史を絡めながら晶子について調べてみたいと考えています。

自分の役目があるならば、近代日本文学の知られざる一面を世の中に知らせることだと思っています。これからも自分の心が引きつけられた作家、作品について研究し、本を書いてゆければ幸せです。

### Message

#### 英和生へのメッセージ

東洋英和の図書室は宝の山です。英和生として使わないのは大損だと思います。週に一度でいいので、遊びにいくと思って覗いてみてください。いまはコンピュータでの検索が可能ですが、ぜひ本のタイトル(背表紙)を眺めながら、気になった本を手にとって読んでみることをおすすめします。私が『風と共に去りぬ』を手にとったときは、有名作品で映画化されていることは知らず、本が私を誘ってきている、私に語り掛けてきていると感じました。

好きな本を見つけたら、一度目は楽しんで読んだあと、もう一度手に取ってみてください。二度目は自分が感動したところ、好きなどころに印を付けて、感想をメモしながら読んでみてほしいです。時間が経ってから感想を読み返すと、一冊の本を読んで豊かに自分が考えていたかがわかり、多くの発見があると思います。英和生のみなさんは、いちばん吸収力があり、先入観のない感性を持っている時期にいます。キラキラした感性とエネルギーに溢れるいま、良質な本を読んで自分の中で革命を起こしてください。

インタビュー

ジャーナリスト・作家

水野梓さん

” 正解のない問いと向き合い続ける  
報道姿勢を養った東洋英和の14年間

“ ジャーナリストと小説家、ふたつの顔を持つ水野さん。東洋英和で学んだことが、現在の仕事にどのような影響を与えているのでしょうか。

小説家になるきっかけは  
一冊の本との出会い

私の祖母の水野富美子が東洋英和女子学校の国語の教師だったつながりもあり、母と私と妹は幼稚園から高等部まで、弟は幼稚園のみですが、東洋英和に一家でお世話になりました。ちなみに私の本名は鈴木あづさといいますが、



ロンドン開催のAI国際会議取材

小説家としてのペンネームは大好きだった祖母の姓を借りて水野梓としています。

作家を志すきっかけとなったのは小学部4年生のとき。図書室の司書の先生にすすめられ、新田次郎の『孤高の人』を読んだことです。当時友人関係に悩んでいた私に「孤独の大切さ」を教えてくれた本で、自分のように人間関係に悩む子を救う小説を書きたいと思うようになりました。同時に小学部の新聞委員会に入っており、ジャーナリストになって世界を見てみたいという思いもありました。大学卒業後は日本テレビに就職して報道記者になりましたが、小説家になりたいという夢はずっと持ち続けており、三十代後半に産休を取ったタイミングで第一作目となる『彼女たちのいる風景』を執筆しました。作家としてのデビュー作は『蝶の眠る場所』ですが、実は第三作目となるこの作品を先に書いていたんです。

自分を信じて夢に突き進む  
自尊心を育ててくれた英和の教育

東洋英和に14年通って実感するのは、英和生は共感力が高いということです。「他人の靴を履く」というイギリスのことわざがありますが、相手が置かれた立場や気持ちを想像して共感する力がある。これは机上の勉強だけでなく、ボランティアや地域活動を通して社会のさまざまな問題について考え、想像力を養わないと得られない力だと思います。

困っている人に手を差し伸べ、助け合う協働力も高いです。英和生がいるだけでその場のコミュニケーションが円滑に運ぶことが多々あり、人間関係の潤滑油になる力があると感じます。ペイフォワード（恩送り）という言葉がありますが、自分が受けた善意をほかの誰かに渡すことで善意をつないでいく。そばにいるたったひとりのためであって



イスラエルの戦地での取材

Message

英和生へのメッセージ

身の周りのことだけに気を取られず、先を見通す力を養ってほしいです。近年、人工知能や遺伝子操作などの科学技術が進んでいますが、その技術を福音とするか、破壊の道具とするかはいまを生きる私たちの手に委ねられています。そして正しい判断をするためには、若いうちに先を見通す力、すなわち想像力を養っておくことが大切だと思います。いま世の中で何が起きていて、自分は何を見聞きすると心がざわつくのか、自分は何をしているときに嬉しいのか、悲しいのか。世の中の声、周囲の声、そして自分の内なる声に耳を澄ますことで想像力を養ってほしいのです。

またどんな時代においても、生きる上で大切なのは「好奇心」「疑問」「怒り」の三つだと思います。身近なことでもいいので、世の中で起きている不条理なことに対してもっと疑問を抱き、怒ってほしいです。その怒りが前に進む原動力になります。好奇心を持って物事を見ること、そして疑問に思ったことがあれば人と対話すること、そして正しい怒りを持つこと。この姿勢があれば、世界のどこへ行っても人と対等に向き合えると私は信じています。



モロッコ地震の震源地に近い  
村の救出活動取材

ジャーナリストの仕事は日々のニュースを追うことですが、その日あった出来事は報じて、その後を追い続けることはなかなかできません。カメラが入れる場所は限られており、事件のその後や、人の心の中などを報じることは難しいのが実情です。そこで、「その先

も、何か手助けしようとするところは英和生の優れた点だと思えます。  
また東洋英和で学んで良かったことのひとつが、自尊心を育んでくれたことです。私には「まあ、何とかなるだろう」という根拠のない前向きさがあるのですが（笑）、この前向きさのお陰で夢に向かって突き進むことができたと思います。英和生には「家族から愛される」「学校から愛される」「神様から愛される」という三つの柱による強固なセルフ・ティーネットが与えられており、だから伸び伸びと個性を伸ばし、前を向いていくことができるのだと強く感じます。

### 小説を書くことは 正解のない問いへの答え探し

ジャーナリストの仕事は日々のニュースを追うことですが、その日あった出来事は報じて、その後を追い続けることはなかなかできません。カメラが入れる場所は限られており、事件のその後や、人の心の中などを報じることは難しいのが実情です。そこで、「その先

### 得たことや体験を 社会に還元していきたい

現在、日本テレビの支局長としてロンドンに赴任しています。楽しそうと思われるかもしれませんが、実際は大変なことばかりです。物価が高くてコーヒー一杯が千円近くしますし、家の設備がしょっちゅう故障したり、電車が突然止まったりと、日本と比べて不便を感じる人が多いです。11歳の息子

を追い続けていくための私なりの方法が小説でした。ジャーナリストとして感じた社会の歪み、人の悲しみや苦しみなど、カメラで追いつけない社会の課題や問題をフィクションのかたちに落とし込んでいきたいと思っています。  
デビュー作の『蝶の眠る場所』は冤罪がテーマとなっており、実際にあった事件をベースに「人は人を許せるのか、人は人を裁く権利があるのか」ということを物語を通して問うています。振り返ってみると、東洋英和の一貫教育の中で正解のない問いについて考える機会をたくさん与えられ、自分なりの答えを考え続けたことは何物にも代えがたい時間だったと思います。東洋英和で学ばなければいまの仕事はしていなかったかもしれませんし、小説を書くこともなかったかもしれません。骨の髄まで東洋英和の教育が染みついていいるな、と感じます。

と二人きりで渡英したので、仕事と子育ての両立も大変です。でもこうして裸一貫になってみることで、自分がどういう人間で、何をしたいか、何を欲しているかが見えてきた気がします。  
海外生活で学ぶこともいっぱいあります。多文化社会のイギリスにはさまざまにバックグラウンドを持つ人がおり、家族構成も多様です。人と違うことが当たり前なので、多様な個性、生き方をみんなが自然に受け入れています。息子が通っている学校の先生も、点数だけでその子を判断することはなく、成長を長い目で見て評価し褒めてくれるので、日本の教育にはない良さを感じることが多いです。ボランティアも推奨されており、息子は自分でクッキーを焼き、教会のバザーで売って献金する活動をしていました。子ども自身にできることからやらせてみるところは、東洋英和の教育と似ているなと思います。

私は49歳で、これから人生の後半を迎えます。イギリスに来て自分の偏見や思い込みが気付かされ、まだまだ未熟な自分を再発見しました。これから自分を変革しながら成長していきたいと気持ち新たにしています。日本の外に出て得たものや、ジャーナリスト、作家として得たものをどうやって社会に還元していくか、後輩たちにペイフォワードしていくか、真剣に考えるときが来ていると感じます。

Miyuno Agusa

### PROFILE



1993年高等部卒業。早稲田大学第一文学部、オレゴン大学ジャーナリズム学部卒業後、日本テレビ入社。社会部デスクを経て中国特派員、国際部デスク。「NNNDキュメント」、新聞社の編集委員、経済部デスク、「深層ニュース」キャスターを務め、現在ロンドン支局長。作家としても活動し、最新作は事件の加害者・被害者の両側に関わることになった臨床心理士を描く『グレイの森』（徳間書店）。

### 書籍情報



#### 『蝶の眠る場所』

【著】水野 梓  
出版社：ポプラ社  
発売日：2021年4月14日  
定価：1,980円（税込）



#### 『彼女たちのいる風景』

【著】水野 梓  
出版社：講談社  
発売日：2022年11月30日  
定価：1,980円（税込）



#### 『グレイの森』

【著】水野 梓  
出版社：徳間書店  
発売日：2023年11月2日  
定価：2,090円（税込）

# From the Garden of Kaede

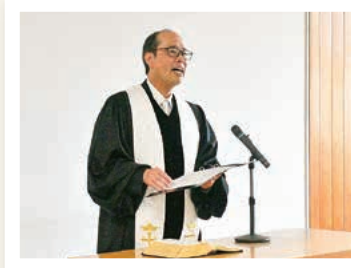
2023年11月23日(祝)

## 大学付属かえで幼稚園 創立50周年記念礼拝

～感謝に満ちた一日～



【午前】近隣で支えてくださった方々・学院関係者・大学・保護者、同窓生代表・旧教職員・現教職員との礼拝では副院長高橋貞二郎先生が「根っこを育む」という題でお話くださいました。



【午後】1期(56歳)～38期(18歳)の卒業生とその保護者の方々が、ホームカミングとして大勢幼稚園に帰っていらっしゃいました。



2回に分けてホールに集まり、礼拝をしました。「光の子として歩みなさい」のみことばに聞き、祈り、幼稚園で親しんだなつかしいさんびかをメドレーでうたいました。



アルバムを見ながら幼稚園の頃を  
思い出し笑顔で語り合う皆さま



「美しが丘礼拝」の恵み

大瀧知子・片岡朝子

**か** えで幼稚園は、学院各部と同様にキリスト教教育の場として生活をし、礼拝の時を大切に守っています。しかしながら多くの子どもたちは卒業後に公立の小学校に進むことや園の周辺に教会がないことにより、園を巣立ってからは礼拝から離れて過ごすことが現実でした。（毎年、卒業生を招いてのイースター礼拝とクリスマス礼拝は守り続けています。）

私もはいつの頃から、卒業した子どもとそのご家族、また「礼拝をし聖書の話に触れてみたい」「学生時代にミッションスクールで歌っていた讃美歌をまた歌ってみたい」などの思いのある近隣の方々とともに定期的な礼拝を守ることができないだろうか（礼拝の場としての働きをこの地域にあって果たすことができないか）という願いを抱いていました。そして「神さま、みこころならば、その道をお開きください」と祈りに覚えてきました。創立50年目の2022年12月、神さまがその祈りを実現させてくださいました。大人と子ども合わせて

180人余りの方が「美しが丘クリスマスの夕べ」に集い、喜びに満ちた礼拝を守ることができました。そしてその翌月2023年1月より、毎月第3土曜日の午後2時から「美しが丘礼拝」が、園の卒業生や、元保護者、園の近隣に住む地域の方々、そして在園児親子が招かれて続いています。人数は20名〜50名とその時により異なりますが、ほぼ毎月出席されている方もいます。家族皆でやって来る方、ミッションスクールを卒業して以来何十年ぶりに聖書を持っていらっしやる地域の方、美しが丘礼拝のことを知って電車に乗って遠くからいらっしやる方、卒業生のお母様同士誘い合っただけの方……とさまざまです。



分級の時の子どもたち

中には、「かえで幼稚園で覚えた聖書のことばがずっと心に残っていて、

いつかまた礼拝をしてみたいと思っていました。ホームページでこの礼拝を知り子どもを連れて数十年前ぶりにここに来ました」という40代の卒業生や、「自分の幼稚園時代は別の町に住んでいたのですがかえで幼稚園の卒業生ではありません。でも妹がかえで幼稚園に通い、礼拝をしているのがとても羨ましかったので、今日来られて嬉しいです」というような思いをもって訪ねてくる中学生もいます。

美しが丘礼拝では、東洋英和女学院大学の名誉教授である吉岡良昌先生が毎月ご奉仕してください。メッセージを語られます。かつて教会の牧師をされ、その後長くキリスト教教育の教鞭をとられ、大学を退職後キリスト教保育園の園長を経験された吉岡先生は、御心に適う礼拝となるよう祈りつつ試行錯誤を重ねてくださっています。また出席された方に真摯に向き合い、質問には丁寧に対応してくださっています。2023年の1月から7月までは創世記から始まる旧約聖書の物語を、8月以降は新約聖書よりイエス・キリストのご生涯から語られました。月により（また話のテーマにより）最初から最後まで大人と子どもが一緒に過ごす時と、メッセージの部分からは子どもも別の部屋へ行き、分かれてお話を聞く時があります。（子どもたちはお話を聞いた後に、お話になんだ制作や



吉岡良昌先生による祝祷

ゲームをして楽しんだり、庭に出て遊んだりします。）

大人と子どもがともに心を合わせ、讃美歌を歌い、祈り、聖書と出会う礼拝の輪の中に神さま・イエスさまがおられることを感じ感謝します。それぞれに「美しが丘礼拝」を通して神さまの愛にふれていくと信じられます。礼拝後のホールや園庭での交わりや対話のひとときも、嬉しい時です。

あたたかな時が流れる「美しが丘礼拝」が、この地域に根ざしたキリスト教教育の場であるかえで幼稚園に主が与えてくださったもうひとつの使命と信じ、祈りつつ喜びと感謝をもって継続していきたいと望んでいます。

どなたでも参加していただける礼拝です。かえで幼稚園で第3土曜日にお待ちしています。

のりもの だいすき

担任 川島知香

8

時35分「タッタタッタタッタ……」

朝の支度を終えた子どもが  
走って、乗り物置き場に駆け寄って  
くる音です。ほぼ毎日、8時45分  
には二輪車・三輪車・スクーターは表  
庭へと出発し、乗り物置き場は空っ  
ぽになります。

今日ほどの乗り物に乗ろうかな、  
乗り物の後ろには荷台を付けて……  
と自分の乗りたい物を選び、カスタ  
マイズをし、広い表庭へ出掛けてい  
きます。乗り物に乗れたという喜び  
や今日は表庭で何をして遊ぼうか、  
という期待から子どもたちの表情は  
いつも生き生きとしています。

進級し、少し経った6月のこと  
です。表庭での遊びに慣れてきた  
頃、年中組・年長組の子どもたちは  
乗り物で遊ぶことに夢中になってい  
ました。支度を終えると我先にと急  
いで乗り物置き場に走って向かいま  
す。台数が限られていることもあり、  
幼稚園の遊具の中でも乗り物は大人  
気です。「僕が使おうとしていたの  
に」「私が先に乗ったのに」と乗り  
物を巡り、いざこざが起きる日々が  
続きました。居合わせた教師は、「何



荷台を連結するの、お手のものです

故そんなに乗り物が好きなの？」と  
率直な疑問を尋ねました。「乗ると  
楽しいから」「友だちを後ろに乗せ  
て一緒に遊べるから」「スピードを  
出して走ると気持ちがいい」乗り物  
一つとっても感じ方はさまざまです。  
一人ひとりの乗り物が好き、という  
気持ちは似て非なるものでした。加  
えて、「どうしたら皆が楽しく乗り  
物で遊べるかしら」と年長組の子ど  
もたちを中心に問いかけました。「乗  
り物を20台(約1クラス分)に増や  
す」「先生とおうちの人们たちでお金  
を出して新しく買う」「乗り終わっ  
たら友だちに貸す」など、さまざま  
な意見が挙がりました。結局、乗り  
物を増やしたり、友だちに貸さなく  
てはいけないルールを設けたりする  
ことはせず、子どもたちの考えとし  
て受け止め、教師たちは普段通り見  
守り、関わりました。乗り物につい  
て考える時間があつたからか、「自

分だけではなく、友だちも乗り物  
が好きで皆、乗りたいようだ」と  
いうことが改めて分かったよう  
です。その後もいざこざが起ること  
はしょっちゅうですが、「表庭を一  
周したら貸してあげる」「1から60  
まで数えたら運転手を交代しよう」  
と柔軟に貸し借りをする場面も増え、  
同じ遊具が好きな者同士、仲を深め  
る姿も見られるようになっていきま  
した。



「タクシーに乗る人はいませんか？」

毎日、たくさん乗り、遊んでいる  
のでタイヤがパンクし、故障してし  
まうこともあります。子どもたちで  
相談をし、タイヤ部分を縫い合わせ  
て「手術」をしたり、新たな部品  
が届いたときには木工室からペンチ  
を持ってきて自分たちで修理をしよ  
うとする姿がありました。壊れてし  
まった物もこのようにして子どもた  
ち自身が直し、また大切に使って  
います。これは乗り物に限らず、幼  
園では毎日当たり前のように見られ  
る姿です。そのようにすることで、  
物に対して親しみが湧き、より愛着  
を持って扱うようになるのです。

私は昨年度、東洋英和幼稚園に着  
任しました。その際、子どもたちの  
遊ぶ様子を見て驚いたことがあります。  
それは幼稚園にさまざまな乗り  
物がありますが、教師も子どもたち  
もその乗り物のことを正式名称では  
呼ばないということです。ある時、  
私は「この三輪車、どこに片付ける  
のかしら？」と、子どもに尋ねまし  
た。「それは三輪車じゃないよ、バ  
スだよ！」と言われ、衝撃を受けた  
ことを覚えています。大人にとつて  
乗り物は乗り物にしか過ぎませんが、  
乗っている子どもが「六本木、六本  
木でございませう」と言えは電車に、  
「パカラッパカラッ」という音が聞  
こえれば馬に変身するなど、遊びに  
よって乗り物の用途が異なり、呼び  
名も変化します。改めて、乗り物は  
遊びの中で欠かすことのできない大  
切な道具であることを知りました。

これから子どもたちが成長してい  
く中でも、乗り物で遊んでいる時の  
ように自分の進みたい方向にハンド  
ルを切り、自らの力で前に進んで  
いってほしいと願っています。

小学部生にとつての  
ビブリオバトル

担任 坪田 恵梨菜

こ 数年、小学部では「ビブリオバトル」を中・高学年の国語の授業で導入しています。

小学部で行われているビブリオバトルは、各自、自分が面白いと思った1冊の本の紹介をし、発表者への質問タイムを経て、読んでみたいと思っただ人が一番多かった本がチャンプ本に決まります。予選は4〜5名のグループ内で投票、決勝戦は各グループの1位がクラス全員の前で発表しチャンプ本を決めます。昨年は、5・6年生合同のビブリオバトルも行われ、約160冊の中から計4冊がチャンプ本に選ばれました。

3分以内という長いようで短い時間の中で、いかにその本の魅力を伝えていくかに、勝負の行方がかかっています。



この本、とにかくおすすめします！

ます。そこで、今回の発表に向けて5年生の子どもたちは、事前準備の一つとして、TED(プレゼン動画)や全国高校生ビブリオバトルの映像を観ました。発表者の身振り手振りや表情、話し方などを観察することで、話す内容以外にどのような部分に気をつけるとういかに着目しながら、よりよいプレゼンテーションとはどのようなものなのかを考えていきました。

本番当日、子どもたちは一人ひとり、自分のお薦めの本を手に、身振り手振りを上手に使ったり、言い回しや感情のせ方を工夫したり、問いかけのような切り出し方をしたりして発表しました。発表後に送られる仲間からの温かい拍手は、会場を更に盛り上げてくれました。子どもたちに秘められた豊かな表現力、プレゼンテーション力を発揮することができるとビブリオバトルの魔法を感じずにはいられません。

子どもたちに聞きました

毎年行われるビブリオバトルで必ずといってよいほど紹介される、小学部卒業生である麻希一樹さんの著作の数々。そこで今回、麻希さんの著作について、4〜6年生にアンケートを取りました。その結果、麻希さんの著作を4年生の5割、5、6年生の4割は読んでいたことがわかりました。その中でも人気だったのは『5分後に意



情熱的な話し手に、聞き手も思わず「読んでみたい……」

外な結末』シリーズです。最後に印象的でどんでん返しや「え？」となる発想の面白さが主たる理由でした。

アンケートの中には、「最後にどうなったかわからず、自分でその続きのお話を作るのが楽しい」(4年生)「何回も繰り返し読んでみると、その物語の意味がわかってきたり、2冊目で、『あ、そういうことか』と続きがあったりして毎回驚かされる」(6年生)などの感想が寄せられました。麻希さんの作品が子どもたちの心をつかみ、自己表現力の基礎となる豊かな国語力につながっていることがわかります。

特別編

麻希さんに小学部の子どもたちからの質問にお答えいただきました。

1. お薦めのお話は何ですか。

どのお話にも思い入れはありますが、一番印象に残っているのは『未完成』なほくらの、『生徒会』に出てくる

葵のエピソードかもしれません。このお話を書いている最中、気づいたら私も葵と一緒に泣いていてびっくりしました。楽しいけれど、それだけではない、ほろ苦さの感じられる青春が気に入っています。

2. お話の題材はどうやって探しますか。

私は歴史や政治社会の話が大好きで、普段からよくドキュメンタリー番組を見たり、ルポルタージュやノンフィクション小説を読んだりしています。そうやって頭の中にストックしたネタの中から気になるものを引っ張ってきて、お話を作ります。同じネタを扱う場合でも、登場人物によって全然違うお話ができあがるので面白いです。

3. 短い物語を書くためにはどうしたらよいですか。

短い物語を書くときには、読者さんにアピールしたいポイントを一つ決めておくといいです。例えば、意外な結末のお話であれば、どうすれば読者さんに驚いてもらえるか考えながら、最初に物語の結末を決めます。そして、その結末を持って行くための舞台設定や登場人物を考えていくと、お話を短くまとめやすいです。

豊かな自己表現力を身につけて未来へとばたく小学部生に、エールを送ります！ (編 谷口こゆき)

英和生に、新たな本との  
出会いの場を  
『図書室入口エリア  
改装報告』

図書科司書教諭 植田 亜里沙

2 023年夏、図書室の入口エ  
リアが生まれ変わりました。コ  
ンセプトは「憩いの場」と「本との出会  
い」です。今回は、新図書室の見どころ  
をご紹介します。

1 図書室の中がよく見える！

「印象が変わった！」と一番驚かれ  
るのがこの部分。入口右側を全面ガラ  
ス張りにしたことで、開放的な雰囲気  
になりました。なんと、10メートル以  
上離れた職員室の入口からでも、図  
書室の様子がよくわかります。展示も  
これまで以上に注目してもらえると



図書室入口

うになりました。今後も魅力的な展  
示を作って、本との出会いの場を演出  
していきたいと思っています。

また「広くなった？」と何度も聞か  
れましたが、改装前後で面積は変わっ  
ていません。壁を一部撤去し、文庫本  
の棚を少し低くしたため、入口からの  
見通しが格段に良くなりました。奥の  
エリアとの一体感が生まれたことが、  
広く感じられる一因かもしれません。



文庫本コーナー

2 本を読みながらくつろげる！

待望のソファ・スツールがついに  
登場！カウンターをぐっと後ろに下  
げてスペースを広げ、くつろぎの場を  
作りました。

お友達とおしゃべりしながらお菓  
子のレシピ本を眺めたり、新着図書コ  
ーナー前の特等席でじっくり選んだ  
り……英和生も教員も、思い思いの  
時間を過ごしている様子が見られる



待ち合わせにもおすすめ「くつろぎの場」

ようになり、嬉しい限りです。入口の  
見通しが良くなったおかげで、待ち合  
わせ場所としても一役買っているよう  
です。

一方で、仕切られた自習スペースや、  
本棚の脇の「ひとやすみスポット」など、  
隠れ家のような場も健在。さまざまな  
目的の利用に応えられる図書室にな  
りました。

3 新聞記事にも出会える！

図書室は、さまざまな情報が集ま  
るメディアセンター。そこで、本ととも  
に、英和生にぜひ読んでほしいと思っ  
ているのが新聞です。改装後は、新聞  
記事が自然と目に入るような場所を  
増やしました。

(1) 入口前の掲示板には「新聞1面  
比べ読みコーナー」を作りました。

体育館への移動のついでに、お友達



新聞架。隣の絵本も人気です



入口前掲示板

を待っている間に、ぜひ眺めてもらい  
たいコーナーです。

(2) 新聞架は、1面が見えるように  
置けるタイプにしました。

1か月分のバックナンバーも自由  
に手に取れるようにしたので、授業  
で使う新聞を探しに来る先生にも  
好評です。

(3) 入口横の展示コーナーの壁を、  
磁石が使えるタイプのものにしまし  
た。

テーマに合わせた新聞記事を積極  
的に掲示しています。



入口左手の展示コーナー

今回の改装でこだわったのは、展示のテーマや利用者のニーズに合わせて変えられる部分を多くすることです。まず、入ってすぐ左手の展示エリアは、棚の高さや配置を自由に動かせるものになりました。そしてくつろぎの場は、

4 組み換え自由！  
変わり続ける図書室へ

リニューアルから2週間後のことでした。あれ、ソファの置き方が変わった……？」「その通り、よく気付いたね！」



展示「防災特集」

(3)「石澤先生の本棚」

II学期の始業礼拝で、中学部長の



保健室とのコラボ展示「目の愛護デー特集」

保健室とのコラボ展示です。これまでも、熱中症やセルフケアなど、保健室前の掲示板とテーマを合わせて展示してきました。ここでは、10月10日「目の愛護デー」に合わせて本を選んでいきます。

(2)「目の愛護デー特集」

ノーベル賞・イグノーベル賞の発表に合わせた展示です。賞に関する本はもちろん、研究室を舞台にした小説や、ノーベル文学賞受賞者の作品も集めました。

ソファはもちろん、展示に使う「積み木」も組み換え可能です。ここで、改装直後の9月〜10月に実施した展示をいくつかご紹介します。

中学部図書活動委員長に  
聞いてみました。

Q. 新しい図書室はどうですか？

「明るい雰囲気になったと感じています。本棚の近くに座れる場所が増え、気になる本をその場ですぐ読めて良いなと思いました。展示のスペースもおしゃれで、思わず本を手に取りたくなります。図書活動委員としては、カウンターからの視界が開けたことが嬉しいです。図書室内を見渡すことができ、お当番の時間がこれまで以上に楽しくなりました。丸みを帯びたカウンターが柔らかな雰囲気を作っていて、周りとの調和が感じられるところも気に入っているポイントです。」



中学部長とのコラボ展示「石澤先生の本棚」

石澤先生が読書の大切さについてお話ししたことをきっかけに、生まれた展示です。石澤先生が好きな作家の著作や、毎年作成している「先生おすすめブックリスト」などで紹介してきた本を集めました。

毎週新しい本が新鮮な風を吹き込んでいく図書室だからこそ、場の新鮮さも大切にしていきたいと思っています。変わり続けていく図書室を、どうぞお楽しみに。



礼拝のお話に関連する本は、外からも目立つ場所に展示します

開設25周年を迎えた  
生涯学習センターの  
これまでとこれから

## 生涯学習センター運営委員会

### 生

生涯学習センターは、文部省(現在の文部科学省)の社会人に対する生涯学習の推進に関する要請に因應するために、1997年度に開設され、2022年度に開設25周年記念行事を開催しました。本来は2022年度に開設25周年記念行事を開催すべきところでしたが、新型コロナウイルスの影響により2023年度に開催することとなった次第です。

開設以来一貫して、社会人に対して「人生の生きがいや学びの継続」を支援し「趣味や知的好奇心の充実」に貢献することを目的として、さまざまな講座を開講し、地域や社会に貢献してきました。

生涯学習センターでは、開設25周年記念講座として、次のような特別上映会、専任教員によるオンライン講座、および、特別講座を参加費無料で行いました。

### 1 特別上映会

シネマポストユーゴとの共催による特別上映会『柳(Willow)』(ミルチョ・マンチエフスキ監督作品、2019年)を6月に行いました。同監督は、マケドニア共和国(出身で、ベネチア国際映画祭金獅子賞をはじめとして多くの受賞歴のある方

です。上映会後に、同監督と参加者の懇談の機会も設けられ、参加者からは好評でした。上映会当日のオンラインによる懇談の様子は、写真に示すとおりです。



シネマポストユーゴ×東洋英和女学院大学『柳(Willow)』上映会

### 2 専任教員によるオンライン講座

本学専任教員によるオンライン講座を配信いたしました。リアルタイムのウェビナーに加えて見逃し配信も行ったため、多くの方々から大きな反響があり好評でした。

#### 前期 『生と死をめぐる人間学』(人間科学部)

- ・第1回 テーマ「命の価値について」教える「学ぶ」とは」尾崎博美准教授
- ・第2回 テーマ「高齢者における生と死」秋本倫子准教授
- ・第3回 テーマ「宗教学における生と死」奥山倫明教授

#### 後期 『文化を通じて世界と社会を考える』(国際社会学部)

- ・第1回 テーマ「異文化理解を通して多文化共生社会を考える」井上美砂専任講師
- ・第2回 テーマ「KPOPにみるマーケティングと国家の戦略」長谷川かおり准教授
- ・第3回 テーマ「国連の中の市民の力」持続可能で平和な未来のために」田中極子准教授

### 3 特別講座

国立科学博物館副館長 栗原祐司氏を招いての特別講座「UNESCOと博物館」を12月に行いました。国内外の博物館について知り尽くしている著名な同氏による特別講座は、参加者も多く好評でした。



「UNESCOと博物館」講座風景

生涯学習センターは、地域と社会のより良い未来を創るために、「文化・教養」に関することに加えて、「ライフスタイル」「キャリア・スキルアップ」「社会・地域創生」などに関する講座を開講し、これからも皆様に充実した学びの機会を提供していきます。

## 東洋英和女学院大学 オルガン奉獻30周年記念 (第31回)チャペルコンサート

11月24日(金)に礼拝堂にて、オルガン奉獻30周年を記念するチャペルコンサートを開催しました。さまざまな演奏活動に取り組まれている石丸由佳氏を演奏者としてお招きし、1993年12月のパイプオルガン奉獻式・記念演奏会で演奏された曲から、誰もが一度は耳にしたことがある曲まで、バラエティに富んだプログラムが展開されました。当日は学生ボランティアも運営に加わり、学内外より約100名の参加者をお迎えしてオルガンの持つ魅力を存分に味わう時間を過ごしました。オルガン奉獻30周年を迎え、オルガンが設置されてから現在に至るまで、その豊かな響きによって音楽面でも本学のキリスト教教育が支えられていることに感謝するコンサートとなりました。



演奏を通し、オルガンの持つさまざまな魅力を聴かせてくださった石丸由佳氏(写真右)

大学院国際協力研究科  
でチャレンジを

大学院 国際協力研究科長 河野毅

**国** 国際協力研究科は、幼稚園から大学院までの一貫教育を擁する東洋英和女学院が持つ平日夜間と土曜日開講の大学院の研究科の一つです。1993年の開学以来すでに約200名の修士号取得者を輩出しました。社会人の学問探究のためにさまざまな制度を揃えており、年齢を問わず多くの社会人男女が学んでいます。まず、本拠地六本木キャンパスでは対面とオンラインの並行授業「ハイブリッド授業」の実施です。次に、本研究科に正規入学する前に、科目等履修生、プログラム履修生として大学院の授業の単位を取得できる制度があります。そして、2023年度からは社会人の学び直しのために修士論文の執筆に替えて「コア・レビュー」という研究成果で修了できる制度を始めました。修士論文の執筆ではなく、国際協力の核（コア）となる文献を比較検討し、その学術的な価値を論理的に説明（レビュー）する数ページの成果を2年間に4本提出します。コア・レビューの執筆を通じ、不確実な世界情勢を分析する自らの視座を養うことができます。

世界は一国では対応できない課題に直面しています。紛争や戦争、難民問題、貧困問題、移民との共存、温暖化や災害の発生など、課題が山積んでいます。それらの解決の一步は国際協力です。国際協力研究科では、これらの課題を考えるために、まず社会科学研究手法を履修し、学問の枠組

を学びます。続いて、サステイナビリティ学など基礎科目を学び、その後、サステイナブル国際協力コースと国際政治経済・地域研究コースのどちらかを選択し、専門性を高めます。地域研究では、アメリカ、ヨーロッパ、東アジア、東南アジア、中東、アフリカ、など充実した科目を提供しています。さらに、2020年度より、早稲田大学大学院社会科学部研究科と単位互換制度を開始しています。

学費に関し、社会人学生の学費負担の軽減のためのさまざまな制度を用意しています。当研究科は厚生労働省の専門実践教育訓練指定講座の指定を受けており、社会人学生は一定の条件を満たすと入学金と授業料の70%が雇用保険から支給されます。また、3年または4年で修了を目指す長期履修学生は、修士号の標準修業年限の2年間に支払う授業料総額を、長期履修期間で払います。

私たちは、幼稚園から大学院までの一貫教育を擁する東洋英和女学院の一員であることを誇りに思っています。なぜかという点、不確実な時代だからこそ国際協力が求められ、そして国際協力の原点には建学の精神である、隣人に仕える「敬神奉仕」の思いが必須だと信じているからです。国際協力研究科でぜひ学び直してチャレンジしてみませんか？



オンラインでも学べるハイブリッド授業の様子

横浜校地のより良い  
教育環境の実現を  
目指して

大学総務課管財 福里秀頼

■ 学生シャトルバスの午前運行が開始

長年の懸案事項であった午前授業の通学をサポートするため、十日市場駅・青葉台駅・三ツ境駅前から横浜校地までの学生シャトルバスの午前運行を開始しました。



学生シャトルバス  
サイドとリア部には東洋英和カラーを配色

■ 大規模修繕工事がスタート

2022年11月から2023年7月まで、5号館の外壁改修工事が行われました。竣工当時の安全性や美しさを取り戻すことを基本としながら、建物全体の印象を一新した改修工事となりました。

横浜校地の設置から37年が経ち、大切に使用されてきた建物も老朽化が進んできています。この5号館の外壁改修工事を皮切りに、今後も積極的に大学施設の向上に努め、より良い教育環境の実現を目指し整備を進めていく予定です。



改修後5号館全景

## 卒業生が翻訳した

## キリスト教関連の書籍紹介

在学中に培ってきた力、そして賜物を生かしてキリスト教関連の書籍を翻訳されている卒業生が何人もいます。今回は、その中から「主の祈り」についての書籍と翻訳された方の思いをご紹介します。

## 最も偉大な祈り

## 主の祈りを再発見する

訳者：小磯 英津子 (1986年 高等部卒業)

日本キリスト教団出版局 2022年

本書は、ジョン・ドミニク・クロッサン著 *The Greatest Prayer: Rediscovering the Revolutionary Message of the Lord's Prayer* の日本語訳です。著者クロッサンは、イエスが生きた時代や地域の歴史を背景にイエスを探求する「史的イエス」研究の第一人者として知られるアメリカの聖書学者です。



すべては備えられている  
——同級生との「再会」に導かれて  
翻訳に至るまで

10年以上前に出版されたこの本をなぜ私が翻訳するに至ったのか、すべてのきっかけは、英和の同級生である故・石丸友里さんとの「再会」でした。

石丸友里さんと私は小学部から高等部までの同級生ですが、あまり近い関係ではありませんでした。12年間で直接言葉を交わしたのは数えるほどだったと記憶します。特に強く印象に残っているのは、「宇宙飛行士になるのが夢」と目を輝かせて語っていた小学部時代の友里さんです。女性はおろか日本人宇宙飛行士もまだいない時代、途方もない夢だなあ……と思ったことをよく覚えています。

友里さんが宇宙への夢を抱き続け天文学者になったこと、そして私の母校でもある国際基督教大学（ICU）で教鞭をとっていたことは、彼女が2017年11月に病に倒れた後の訃報で初めて知りました。残された写真やビデオの中の友里さんは、私の記憶にあるおっとりとした彼女ではなく、ビビッドな色の服に身を包み澁刺としていて、宇宙への愛や、大で学問を学ぶことへの思いを熱く語るエネルギー溢れる科学者でした。私はとても心を動かされICUチャペルで行われたお別れ会に旧友と共に出席したのですが、そこで不思議な体験をしました。お別れ会の礼拝の最初の讃美歌を歌っている最中、突然涙が溢れ出して止まらなくなりました。同級生の早すぎる死は私にとって当然ショックではありませんが、長く会っていなかった彼女に対して号泣するほどの喪失感を抱いていたわけではありませんでした。なぜこれほどに涙が止まらないのか自分でも理解できないまま、ただただ泣き続けました。



英語の主の祈りが刺繍されたこの美しい葉は高等部時代にいただいたもの。英語の授業で暗唱させられました。英語の主の祈りは日本語よりも音が柔らかくて言いやすく、今もしっかり覚えています。現在通うICU教会ではそれぞれの母国語で主の祈りを唱えるので、時折英語で折っています

礼拝後に友里さんのご家族から、彼女が病気の宣告から闘病中もずっと前を向き、逆に周囲の人たちを明るく励ましていたこと、病床で聖書を手にし特に詩篇23篇「たといわたしは死の陰の谷を歩むとも、わざわいを恐れませぬ。」の聖句を繰り返し読んでいたことなどが伝えられました。なぜそんな強い信仰を持つことができるのか、私には想像もおよびませんでした。それから数ヶ月後、家の近くの教会の前を通った際に、ふと礼拝に出てみようかなと思えました。初めて入ったその教会には英和の卒業生や元教員の方々がいらして温かく迎えてくださり、続けて通うようになった私は、1年後に信仰告白をし、真剣に聖書を学び始めました。けれども聖書を読めば読むほどに、多くの疑問が湧いて来ました。なぜイエスはここでこんな風に言ったのだろう？イエスの言う救いとは、神の国とは何なのか？など……。さまざまな本を読み模索する中で出会ったのが、このクロッサンの本です。渦巻いていた疑問への答えが見つかったような、まさに「腑に落ちた」気がしました。2千年間の解釈や教義のベールの向こうではっきりと聞きとれなかったイエスの声が聞こえ、薄衣にサンダル履き姿のイエスがそこに見えた、そんな鮮烈な感覚でした。



小磯 英津子さん

1986年東洋英和女学院高等部卒業  
(旧姓・森本)。  
国際基督教大学卒業後、メーカー  
勤務を経て、教育、国際協力、ビジ  
ネスなどの幅広い分野で執筆、翻  
訳を行う。

英和生への  
メッセージ▶



この感動をとにかく誰かに伝えたいと思い、まずは母に読んでもらおうと自分で翻訳して一章ずつ母に届けました。その拙訳を聖書学者の河野克也牧師の校閲を得て日本キリスト教団出版局から出版していただきました。ここにも思いがけない再会がありました。日本キリスト教団出版局の局長代行は、私が小学生の頃に通っていた霊南坂教会の教会学校の飯光先生だったのです。出版契約の際に40年ぶりに再会した先生は私と妹のことをちゃんと覚えてくださっていて、「神さまがすべてを御手のうちに置き、備えておられるのですね」と仰ってくださいました。

### 主の祈りと敬神奉仕

さて、主の祈りは、宗派を超えすべてのキリスト教信者が祈る祈りです。しかしこの祈

りの意味を深く考えたことがあるという人は少ないのではないのでしょうか。もちろん私もそうでした。この本で著者は、「我らの父」とは「御名」とは「御国」とは、と一つずつ丁寧に意味を解説しています。聖書の神は「すべての被造物に正義を分配し不正義を回復する神」であり、その神に「主の命のパンが日々与えられ、負債が許され、暴力という試みに陥らざらぬように」と祈りなさいとイエスは教えました。著者はイエスがこの祈りに込めた思いを、その時代と生きざまから鮮明に説き明かします。古の時代から今もなお、人と自然に対して不正義や暴力を繰り返す私たち人間にとって、主の祈りのメッセージは永遠の導きであり希望なのです。

かし人はコインの両面を同時に見ることで生きないので、つい天だけあるいは地だけを見てしまいがちなのだと。これを読んで私はハツとしました。英和の大講堂の左右に掲げられている「敬神」と「奉仕」は、二つの別個の教えではなくて一つの教え、つまり「神を敬うことは隣人を愛すること、人に仕えることは神に仕えること」だったのだと卒業後30年以上も経ってやっと理解したので。

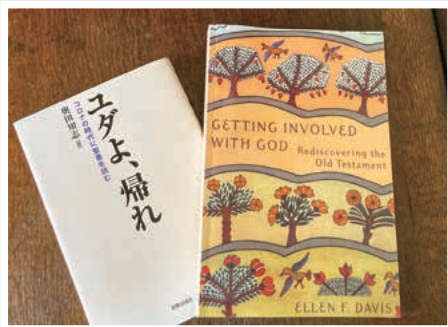
### 星屑の贈り物

友里さんのお別れ会の式次第の裏表紙には、彼女の次の言葉が記されていました。  
「星は輝きを失う時、大爆発を起こして宇宙空間に飛び散ります。星が生涯をかけて作り出した宝物は星屑となり、やがてそこから新しい星が誕生するのです。だから地球が豊

かな惑星であるのは、今はもうこの世にない星々のおかげなのです」。  
これは彼女が亡くなる4年前に後輩たちに向けて『楓園』（71号）に寄せたメッセージの一節です。彼女は銀河の始まりを探求する科学生者として、そしてキリスト者として、天と地は深く結びついていて一体であることを知っていたのです。だからこそ生前の写真の彼女は、この地上の空気や木や花の元素一つ一つまでを慈しみ、この世の生の一瞬一瞬を愛しんでいるような表情をしているのでしょう。天に想いを馳せ、神にすべてを委ね、この世に生かされている「今」をイエスに従って力強く生きる生き様が彼女の強い信仰の基盤にあった、私はそう確信します。30年という月日を経て「再会」した友里さんは、私に幾多の星屑の贈り物を注いでくれます。そして私も彼女のように生きていきたいと心から願っています。



### お薦めの本 2冊



### [右] GETTING INVOLVED WITH GOD Rediscovering the Old Testament

【著者】エレン・F・デイビス  
【発行】Cowley Publications 2001年

『神と深く付き合う—旧約聖書の再発見』（仮題）。私たちにとって神とはどのような方であり、神との深い関わりの中で生きるとはどのようなことなのか、旧約聖書学者のエレン・F・デイビスが語ります。クロッサンはイエスの祈りから神を説き明かしましたが、本書は旧約聖書から神と人との関係を説いており、併せて読むと父なる神をより深く理解することができます。講演・説教集なので平易な言葉遣いで読みやすく、穏やかな語り口に引き込まれます。（これも日本語訳済みなので、出版社募集中心！）

### [左] ユダよ、帰れ コロナの時代に聖書を読む

【著者】奥田 知志  
【発行】新教出版社 2021年

北九州市で長年にわたってホームレス支援を行なう東八幡キリスト教会の奥田知志牧師による、コロナ禍中(2020年イースターから7月まで)の計15回の説教集。

パンデミックの混乱と恐れの中で、私は心の置き場が定まらずに必死に「言葉」を求めていました。この状況を、この時代をどう捉えたらいいのか、学者や知識人からの発言は多く見られたものの、宗教者からの発信は残念ながら少なかったように思います。そんな中ようやく出会った一冊。キリストに従ってこの世を生きることを意味を改めて教えられました。

# 教員紹介

—専門分野について教えてください。

日本文学および神話学を専門とし、『古事記』や『日本書紀』に出てくる古代の神話や、その末裔といえる昔話を研究しています。神話というのは、その文化が持っている世界観を物語の形で表したものです。なぜこの世界には天地があるのか、私はなぜ生まれ、なぜ死ぬのかなど人間の根本的な問いに物語の形で答えてくれるのが神話です。だから、神話の研究は、自分の世界観や自分そのものを知ることにもつながります。

—神話と昔話にはどんな関係が？

『桃太郎』はなぜ桃から生まれたのでしょうか？ 古代の神話にイザナミとイザナギという最初に世界を生み出した夫婦が出てきます。妻イザナミが死に、夫イザナギは連れ戻そうと黄泉に追いかけます。ところが、「見るな」と約束していたのに、腐ってドロドロになった妻を見て、夫は逃げ出します。怒った妻は死の軍団に追いかけてきますが、夫が桃の実を投げつけると、軍団は逃げ帰ります。桃は生命力の象徴なので、軍団は引き下がったのです。つまり、桃太郎は生命力の象徴である桃から生まれたからこそ、あの世ともいえる鬼ヶ島へ鬼退治に行けたのです。

—ジブリ作品を授業で扱う理由は？

神話の世界観を源流とする点で、

## Noriko Furukawa

神話を知ることによって自分を知る

### ▶▶▶ 学生からのメッセージ



国際社会学部  
国際コミュニケーション学科3年  
(左) 石田 芽衣さん  
(右) 阿部 彩花さん

古川ゼミでは各学生の担当する所を調べて発表し、そのテーマについて、みんなで議論することを繰り返しています。先生は難しい内容でも身近なところから例を挙げてわかりやすく説明して下さいます。そして、自分たちの発表や新しい発見を「面白い!」と褒めてくれるので、活発な意見交換ができ、有意義な時間を過ごせます。



大学

国際社会学部  
国際コミュニケーション学科

### 古川 のり子 教授

学習院大学大学院（日本語日本文学専攻）の博士後期課程を単位取得退学。専門は上代日本文学、神話学。本学では「日本文化入門」「日本文化」などの科目を担当。マンガやゲームが好き。最近では宝塚歌劇も観ています。



古川ゼミの皆さん。活発で優しく、可能性に満ちています

宮崎駿監督の作品も現代の昔話と共通するからです。『もののけ姫』に出てくるシシ神は、イザナミと同様に生と死を司る神です。シシ神も人間に裏切られ、怒り、腐ったドロドロの姿で世界を滅ぼそうとしますよね。このように宮崎作品を観ることは、神話を読むことにもつながるので、授業で取り上げています。

—国際コミュニケーション学科で日本文学を学ぶのはなぜでしょうか。

国際社会では、海外のことだけでなく、自分の文化を知らなければ対等に交流できないからです。「なぜ正月に餅を食べる?」と聞かれて答えられますか? 伝統的な世界観では、大晦日に人は死に、元旦に復活して年齢を重ねます。これが数え年の所以ですが、生命力の塊である餅を、1年の始めに体に取り込むことで復活できるという考え方があるのです。

—英和生にメッセージを!

私の師である大野晋先生は、本学が開学する時に尽力された方です。そのため、先生のベストセラー『日本語練習帳』（岩波書店）は、当時の英和生とのやりとりで生まれました。英和生の中には、自分に自信がないという人もいますが、実はみんなすごい力を持っています。ですから、自分で問いをたて、考えることを続けて、その力を発揮してください。

—先生が国語の教師を目指したきっかけを教えてください。

幼いときから文章だけでなく、メニユーや看板などの文字を読むことも好きでした。国語の教員になったのは、「とにかく好きだから」ということに尽きます。ただ教員免許を取得したものの、学校の先生になる覚悟を持っていませんでした。大学院を修了したら一般企業に就職しようと思いましたが、「応募書類が全く通らないんです。それで大学のキャリアセンターに履歴書とエントリーシートを見てもらったら「先生になりたいことが透けて見えるよ」と指摘されて、やっと自分の本心に気付きました。

—国語を教える上で先生が心掛けていることを教えてください。

国語の時間は言葉をたくさん獲得し、自分を表現する場にしてほしいと思っています。ですので私が話すだけでなく、対話を通して生徒自身に考えてもらう時間を大切にしています。私の高校時代のことですが、楽しそうに授業をする地理の先生がおり、その先生の授業を受けることで自分も地理が好きになり成績も上がりました。日本語や日本文学のおもしろさを生徒たちに伝えるためには、まず私自身が授業を楽しむことが大切ではないかと考えています。

### ▶▶▶ 生徒からのメッセージ



中学部 2年  
山田 芳歌さん

吉野先生にはクラス担任と国語の授業で2年間連続でお世話になっています。先生はどんな場面でも私たちの意見を尊重してくださるので、安心して自分の考えを発信することができます。また、いつも優しく見守ってくださるので、クラスの雰囲気もとても明るいんです。困っている時や悩んでいる時は親身に相談に乗ってくださり、いろいろな場面でサポートをしていただいています。

# Ruriko Yoshino

## 人間関係を豊かにする「言葉」の力

中高部

国語科専任

### 吉野 瑠璃子 教諭

お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科比較社会文化学専攻日本語日本文学コース卒業。専門は太宰治の女性独白体小説。研究テーマは、作者と語り手のジェンダーの相違が読者に与える影響。他校で4年間専任教諭として勤務した後、2017年より中学部高等部国語科専任教諭として就任。



4月からマラソンを始めて、夏休みには豊洲のマラソン大会に出場しました。



—英和生にはどんな特徴があると思いますか？

言葉を素直に受け止め、吸収できる生徒が多いと思います。英和に来て約7年が経ちますが、困っている人のために自発的に募金活動をする生徒や、周りのことを気遣いながらリーダーシップを取る生徒など、尊敬できる生徒がたくさんいます。私は気になることがあると話しかけずにはいけないので、ときどき「押しが強すぎたかな……」と反省しますが、明るく反応してくれる生徒たちのことが大好きです。

—英和生にメッセージを！

国語という教科は、「なんのために学ぶのか」という疑問を抱きがちなのが教員のように思います。私も学生時代は、「日本語や日本文学を学ぶことが社会にどう役立つのか」という問いを持っていました。物語を読んで「作者の心情がよくわからない」と言う生徒がいますが、かならず文章にヒントがあります。これは対面でのコミュニケーションにも通じることで、誤解せず相手の言っていることを理解するトレーニングの場が国語の授業なのかなと思います。コミュニケーションには失敗がつきものですが、人とぶつかることを恐れず、自分なりの言葉で気持ちを伝えることを諦めずに続けてほしいです。

英和生の活躍、ご紹介します！

### 研究者を支援する知られざる世界



#### 倉田 敬子

1977年、東洋英和女学院高等部を卒業。慶應義塾大学法学部政治学科を卒業後、同大学大学院、文学研究科博士課程修了。慶應義塾大学文学部教授。2023年9月まで文学部長を務める。4代100年にわたって東洋英和とつながりのあるファミリーのひとり。

#### 慶

慶應義塾大学文学部の教授で、図書館情報学の研究者でもある倉田敬子さん。四代続けて東洋英和に通った生粋の英和ファミリーの一員でもあります。

高等部を卒業後、慶應義塾大学法学部政治学科に進学。当時は女性の進路として珍しかったものの、歴史、哲学・思想、社会学などの広い視点で政治を学び充実した時間を過ごしました。

困ったのが就職先。男女雇用機会均等法が制定される以前の日本は、四年制大学を卒業した女性が就職できる場所は限られていました。そんなとき、慶應義塾大学の図書館が文学部図書館・情報学科を卒業した女性を採用していると知った彼女は、文学部に学士入学することを決意。そこで「学術コミュニケーション」に出

会い、教授のすすめもあって大学院へ進学したことが研究者としての第一歩となりました。

研究活動は調査や実験だけでなく、既存知識から情報収集と成果発表が必須です。学術コミュニケーションはその研究に関わる情報交換のメカニズムを明らかにし、研究者の研究活動を支援する社会システムを考える研究領域です。図書館も過去の文献を収集し提供する役割を担います。

彼女が研究者としてキャリアをスタートした1980年代はデジタル化の波が出てきて、電子ジャーナルの実験が始まったころ。欧米ではメジャーな学術コミュニケーションですが、日本では小さな分野であり、女性の研究者もごく少数。そんな状況の中、科

時に女性委員の割合を増やしていた政府審議会に呼ば

れる機会も多く、若いうちから発言したり研究を発表したりする場を得られたことは研究者として恵まれていたといいます。

世界の研究者が求めているのは、自分の研究論文をで

きるだけ多くの人に知ってもらって評価され、それが次の研究につながる。多くの人が手にする著名な雑誌に論文が掲載されるのが望ましいため、出版社から著作権料をもらうのではなく、出版社が雑誌に自由に掲載し、論文を広めてもらう方がいいということになります。しかし、論文の著者である研究者が著作権を持たないため、自分の論文をコピーすることもできず他者に配布もできないことが問題になっています。

そこで出てきたのがオープンアクセスという考え方です。著作権に縛られず、この世の全ての人

担することで誰もが無料で論文

を読めるようにする方法が普及しています。世界的に著名な『ネイチャー』でも最近この方法を導入しました。さらに、近年は論文の根拠となる研究データも無料で公開するオープンサイエンスを求める動きもあります。研究者が高額な掲載料を負担することへの是非やデータの悪用などの問題があり、研究者が研究を継続していくための新しいシステムを考えていく必要があると彼女は考えています。

現在の大学生を見てみると、本を読み、文章を書く力が見つからないまま大学に進学し、論文を読み書きできない学生が増えている気がします。文章を読みこなす力を養うには、若いときに紙の本を読

む時間を強制的にでもつくる必要がある。さらに本を読んで感想

文を書くだけでなく、自分で見たり調べたりした事実を書く訓練をしないと、論理的にものを書く力が身につかない危険があります。その点、東洋英和は小中高の一貫教育を行うことが可能であるため、まずは短い文章を書くところから、徐々に長文を書く訓練を継続的に行えるのではないかと期待しているそうです。

学術コミュニケーションの研究を通して、科学技術の発展と研究者の支援のために尽力してきた倉田敬子さん。必要な情報を必要とする人のところに届けるシステムづくりを目指して、彼女は常に先を見据えています。



英和生集まれ!

# Maple Mall



振袖などお祝着からカジュアルな外出着までご相談に

## 丁子屋

小林 孝江 (1961年高等部卒、1963年短大卒)  
吉井 恭子 (旧姓小林 1967年高等部卒、1969年短大卒)



**住所**  
港区虎ノ門 1-17-1  
虎ノ門ヒルズビジネスタワー 1F  
**TEL**  
03-3591-0529  
**URL**  
<https://www.choujiya-toranomon.co.jp/>



Check!

創業 1798 年。虎ノ門で代々呉服屋を営業。お誂えからお手入れ、着付けまで、和装のことは何でもご相談ください。着付けを始め、和楽器、和裁などのお教室を開催。英和では、浴衣の着付けをご指導しております。

老若男女・特別支援生も、みんな楽しく学びましょう

## 飛鳥書店・アスカカルチャースクール

浜中 由美 (1979年高等部卒)



**住所**  
調布市西つつじヶ丘 3-28-10  
**TEL**  
042-484-2090  
**URL**  
<https://asukabc.com/>



Check!

子どもからシニア、特別な支援を必要とする生徒も、あらゆる可能性を否定しないみんなのスクール。ダンス・外国語・学習指導・AO 入試対策……80 歳の留学だって OK。カナダで世界中の留学生と国際交流しませんか?

懐石近茶流宗家・柳原尚之がお教える日本料理教室

## 柳原料理教室

柳原 園子 (1993年高等部卒)



**住所**  
港区赤坂 1-7-4  
**TEL**  
03-3582-0707  
**URL**  
<https://www.yanagihara.co.jp/>  
**Instagram**  
kinsaryu



Check!

ご飯を炊く、だしをひく。基本とともに、春夏秋冬・旬の献立を学びます。宗家直接の手ほどきで、魚を自分でおろして、造って、盛り付けて。そして、味わう。本当の日本料理を知って、自分を育ててみませんか。

「第 2 弾 Eiwa Café」が 1 月に発売されました!

## ネットショップ『Eiwa Leaf』

東洋英和女学院中高部



**URL**  
<https://eiwaleaf.base.shop/>



Check!

フジテレビ「イット!」で製作の様子が放送された「第 2 弾 Eiwa Café」が 1 月に発売されました。エルサルバドルの子どもの学習支援を目的としたフェアトレードコーヒーです。どうぞよろしくお願いたします。

## メサイアをうたう会

Spring Concert

【曲目】G.B. ペルゴレージ  
Stabat Mater ほか

【日時】2024年3月23日(土)  
13:30 開場 14:00 開演

【場所】東洋英和女学院中高部  
新マーガレット・クレイグ記念講堂



チケット販売開始2023年12月予定  
お問い合わせは、メサイアをうたう会事務局  
(090-4018-3017)まで

## 卒業生への 大切なお知らせ

次回「楓園」98号より  
郵送を停止いたします

これまで全ての卒業生に向けて紙に印刷された「楓園」を郵送しておりましたが、今回の「楓園」98号(2024年6月発行)より郵送を停止いたします。楓アプリをスマートフォンにダウンロードしていただき、楓アプリで引き続き「楓園」をお楽しみください。



※1987年度(1988年3月)以前に卒業された方には、引き続き紙の「楓園」をお届けいたします。

## 学院創立140周年記念 楓アプリ

2024年に迎える学院創立140周年に向けて、楓アプリが誕生しました。楓アプリでは、「楓園」をご覧いただける他、各部の入試情報や最新ニュース、メディアでの放送予定、イベント情報などがご確認いただけます。ぜひダウンロードしてご利用ください。

プッシュ通知で最新情報  
をお届けします。



東光会会員の方は、会員システムがご利用いただけます。東光会より2月に郵送するID・パスワードでログインしてください。

# 創立140周年がやってきました

## —140年史と桜プロジェクト—

2 024年11月に東洋英和は創立140周年を迎えます。史料室は2つの周年事業に関わり、準備を進めています。

ひとつは年史の制作です。学院は、各部代表の委員で構成された「140年史編纂委員会」を設置し、監修者として静岡文化芸術大学教授水谷悟先生（本学非常勤講師・元中高校社会科教諭）をお招きしています。『140年史』とともに、子ども向けの年史『東洋英和のれきし』も制作中です。こちらは前小学部長の山本香織先生が文章とイラストを担当しています。小学部ではおなじみのキャラクター「めぐみちゃん」も登場し、楽しい年史になりそうです。



子ども向け年史『東洋英和のれきし』メインキャラクター「めぐみちゃん」

もうひとつは「桜プロジェクト」植樹10周年カナダツアーのお手伝いです。「桜プロジェクト」は、ミス・カートメルをはじめ数百数十人の婦人宣教師の信仰とお働きが今日の学院の礎となったことを覚え、ミス・カートメルの母教会があるハミルトン市およびミス・カートメルの出身地であるソロルド市に桜をお贈りし、感謝と友好の絆を永く記念していくことを目指しました。植樹から10年目になる今年5月、学院の周年事業として、どなたでも参加できる「桜プロジェクト」カナダツアーが予定されています。

詳細については各種媒体にて随時おしらせいたします。

- 「史料室だより」No.101「特集1：大学付属かえで幼稚園創立50周年 かえでの庭の50年」「特集2：大学アスレチック広場での保育研究実践—村上哲朗教授インタビュー—」は、下記のURLもしくはQRコードからお読みいただけます。  
<https://www.toyoeiwa.ac.jp/archives/publications/>
- 史料室TEL:03-3583-3166/FAX:03-3583-3329 ホームページ <https://www.toyoeiwa.ac.jp/archives/>



### 後援会より

## 2023年度後援会総会・役員懇談会のご報告

後援会長 井上 貴之

2 023年7月7日（金）、2019年度以来4年ぶりとなる後援会総会を開催し、それに先立ち役員会にて審議可決された役員改選、2022年度収支決算、2023年度収支予算が報告されました。また、10月6日（金）には後援会役員懇談会が開催され、役員と学院で忌憚のない意見交換を行いました。後援会総会・役員懇談会ともに会終了後には懇親会が設けられ、学院の教職員の方々と親睦を深める有意義な機会となりました。



2023年度後援会常任役員

### 大学同窓会 楓美会より

## 「楓美みらい基金」がスタートします！

楓美会は人生100年時代における、新しい同窓会組織を目指し「楓美みらい基金」をスタートいたしました。いただいたご寄付は会員、学生・生徒・地域の方等と共に学び、成長を育むための貴重な資金として、大切に活用させていただきます。ご寄付の返礼品として「メイプルリーフグッズ」をご用意しました。ここでしか手に入らない楓アイテムです。詳細は「楓美会 LINE」をダウンロードし、ご確認ください。今後も温かいご支援を賜りたくご協力をお願い申し上げます。



楓美会 LINE



2023年11月3、4日開催 かえで祭にて

### 学院同窓会より

## 2023年度同窓会活動報告

感染症対策の変更に伴い、同窓会も通常の活動に戻りつつあります。6月には4年ぶりに対面で総会がもたれました。また追悼記念日礼拝では84人の天に召された同窓生を憶えて礼拝を守りました。各支部の活動も再開、夏には史料室の方と共にウォーリス設計の旧ハミルトン・アンド・ハード軽井沢コテージを訪ね清掃のご奉仕をしながら宣教師の先生方の足跡に思いを馳せました。英和のためにお働きくださった先生方の信仰を大切に今後も活動して参りたいと思います。



旧ハミルトン・アンド・ハード軽井沢コテージ